



(株)峰岸商会

(本 社)甲府市増坪町74  
(営業所)上野原市新田661

055-241-3151  
0554-62-3321

いつも弊社をご利用頂きましてありがとうございます。

2か月お休みをさせて頂き、楽しみにされていた皆様にはご迷惑をお掛け致しました。今月号からまた新たに皆様にお役に立てる情報をお届けさせて頂きたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

今月号は切断機で使用している鋸刃についてご説明させて頂きます。  
(切断倉庫部・赤木)

<編集者>

塚原 佳由  
望月 博隆  
村松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平

## 鋼種 Q & A

～ 鋸刃について ～

鋼材を切断する機械は色々なメーカーから販売されていますが、弊社で使用しているメーカー『アマダ』では大きく分けて下記に表示する3種類の鋸刃が有ります。

- ①通常用刃 (SS ・ S-C ・ SCM等)
- ②難削材用刃 (SUS ・ SKS ・ SKD等)
- ③超難削材用刃 (HPM ・ SKH ・ HAP等)

その中で、今回は③の超難削材用刃についてご説明させて頂きます。

超難削材用の鋸刃の商品名は『AXCELA』と言い、大型で硬度の高い鋼材を、通常刃と比べて30～40%の時間短縮と、寿命を高めた鋸刃です。

自社では430mmまでの丸材や平角材に対応できます。

一番の利点としては、300mmの超難削材を切断するのに通常用刃や難削材用刃では一時間以上掛かるものが、40分程度で切断できますのでより早くお客様のお手元にお届けできることです。また、お客様のお手元に430mm以内で高硬度材や難削材がありましたら、一度ご相談ください。細断して再利用できる事にもご協力できると思います。是非、担当営業までお知らせください



通常刃



AXCELA



PCSAW430AX

★国中エリア★3月、4月と半導体関係の仕事が好調ではありましたが、4月後半から少し落ち着いてきた感じはします。自動車関係では、昨年からの好調の波は続いているようですが、製造する部品によってはストックを造りすぎてしまい稼働が極端に落ちている企業もあるようです。切削機械製造、ロボット関係では、依然として好調の企業があるようで、4月に注文を入れても11～12月頃の納入になると言われているようです。海外との取引を行っているメーカーや、企業などは依然として忙しいようで、各社色々な努力をしていると聞いています。

5月の状況は、全体的に仕事量も落ち着き始めるような意見が多く聞かれています。5月、6月が一時休息で、7月から徐々に稼働が上がって行くとの話も聞きます。今後も多くの情報を集め、皆様にご提示出来るよう努力致します。

★郡内エリア★3月は2月同様動きがありました。半導体関係ではT社の勢いがあり、T社関係の仕事量はありました。工作機械メーカーではF社に勢いがありますが、皆様もご存じの通り内政化が進んでおり外に流れる量は同じようです。自動車関連ではメーカーによってひらきがあり、生産量にかなり違いがあるようです。3月は突発等があり2月同様に仕事量も変わらないようでした。また、3月末から4月にかけて徐々に仕事量が減ってきているように思えます。4月においても3月同様大手T社、F社は変わりがないそうです。県外から仕事を頂いているお客様の仕事量が減っているのが現状です。4月(新年度)になり、親会社の役員交代や担当者の交代、予算等の絡みが原因と言われているお客様が何社ありました。昨年も郡内では4月が良くないデータでした。今後の動向を見つつ情報を集めていきたいと思ひます。

★上野原エリア★新年度がスタートし、3月の年度末同様、前半は忙しく動いていたお客様が多かったように思ひます。自動車関係のお客様が多いエリアですが、仕事量の増減に大きな動きはない様子です。また、半導体に関しても大きな変化はありません。しかしながら下請の中には多少の格差が始めて来ているようです。東京・神奈川のお客様も多少仕事量が増えて来た等のお話も伺いました。リピート品の数も戻ってきている様に感じております。5月以降の仕事や新規の仕事となると「予想していたより少ない」「まだ図面が動いていない」などのお話を伺いました。もちろん、新規の仕事が動いているとの情報や、多少ながら試作の仕事も出てきているとの話も伺いました。5月からの仕事量や、動向に期待したいと思ひます。

### ★社長のワンポイント★

「新」という漢字が合う季節となり、今年の4月は慌ただしい様相です。県議選・甲府市議選と4年に一度の大きな選挙。山梨の今後の舵取りする方々を選ぶ大事な月。現状製造業の衰退という部分、大手撤退という市場環境で今までとはまるで違った環境であります。当社のお客様でも、廃業された会社が数十社あり、今後ますます増えていく様子。後継者問題、仕事確保の問題、製造単価の下げ幅アップ。問題づくしの製造業ですが、山梨以外で多くの取り組みが新しくはじまっています。伝統工芸とのコラボレーションや、医療というなかなかどうしたら良いのか分からない分野でのコラボ。山梨は特に山梨大学医学部という国立大学の中で、工学部と一緒にの大学は全国で山梨だけ「ここだけ」＝「強み」でもあります。以前紹介しましたが、医療分野でお困りごとをしっかりと聴かれて、製品にされた会社等は、いち早く市場の動向を察して手を打たれたこのことです。正に「新」であると感じます。工作機械の世界でも合併して新商品を市場に多く出しているメーカー。工具でも更に市場拡大のためお互いの強みを市場で活かす合併と、新たな動きが頻繁です。「変化」と「新」が続く製造業。当社も皆さんのお役に立てよう精進して参ります。今後とも宜しくお願い致します。